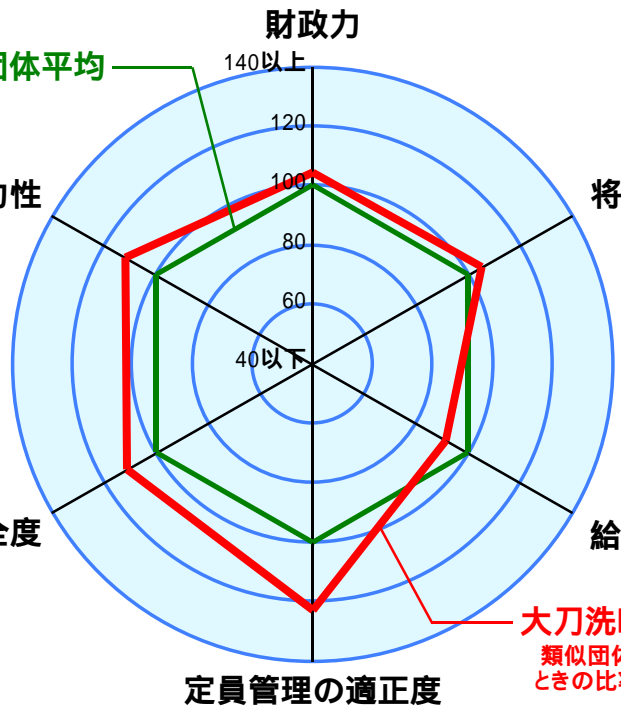


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

福岡県 大刀洗町

人口	15,592 人(H17.3.31現在)
面積	22.83 km ²
歳入総額	5,249,219 千円
歳出総額	5,030,194 千円
実質収支	219,025 千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

財政力指数
 税収・地方交付税等は若干減少しているが、分母となる基準財政需要額の減少により平成14年度の0.41から平成16年度の0.44へと増加している。今後とも、歳入確保のため徴収強化など増収増加に努める。

経常収支比率
 扶助費、公債費の増加と分母となる経常一般財源の減少により数値が上昇している。今後とも類似団体の中での平均値以下の数値を維持するため、新規職員採用の抑制や各種委員会委員等の定数削減などにより人件費の削減に努め、また、事務事業の見直しによる歳出削減と併せて公債費が増加しないように投資的経費の大幅な削減に努める。

起債制限比率
 本町は過去から起債抑制を行い類似団体の平均値を下回っているが、平成14年度の3.9%から平成16年度の6.8%へと増加している。町の総合計画や行政改革大綱を総合的に勘案し、事業の優先度・緊急度・住民ニーズ等を的確に把握した事業の精選により、今後とも地方債の新規発行の抑制に努める。

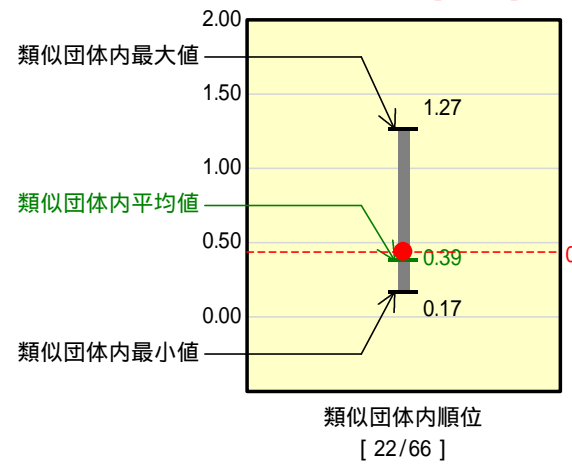
人口1人当たり地方債現在高
 現在のところ起債抑制により類似団体の平均額を下回っているが、平成17年度においては中学校改築事業等により約10億円程度の借入を見込んでいる。今後とも類似団体の平均額を上回ることがないように歳出削減とともに地方債の新規発行の抑制に努める。

ラスパイレス指数
 給与体系の見直しが遅れ、全国町村平均を3.6上回っている。地域の民間企業の給与の状況を踏まえ、今後5年間で給与制度改革を実施し給与の適正化を図る。

人口1,000人当たり職員数
 現在の職員数は、全国市町村平均及び県内市町村の平均を大幅に下回っているが、財政状況を考慮し、なお一層の削減を図る。

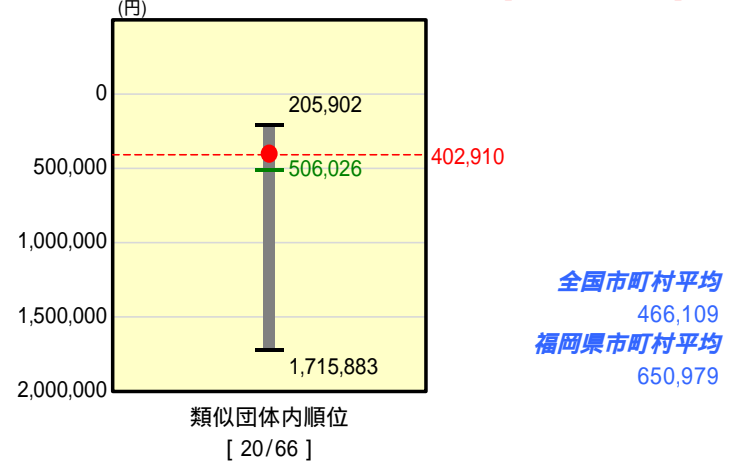
財政力

財政力指数 [0.44]



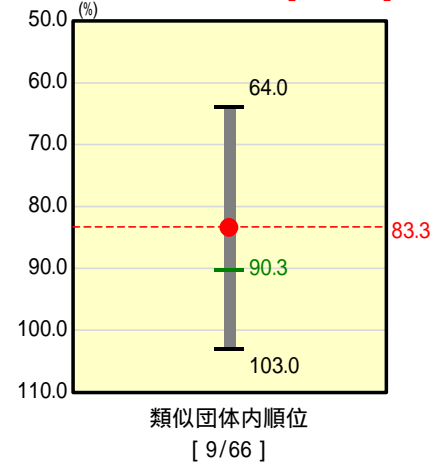
将来負担の健全度

人口1人当たり地方債現在高 [402,910円]



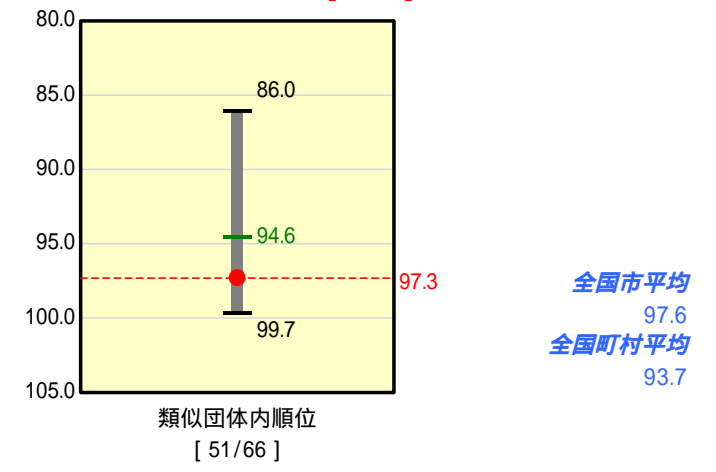
財政構造の弾力性

経常収支比率 [83.3%]



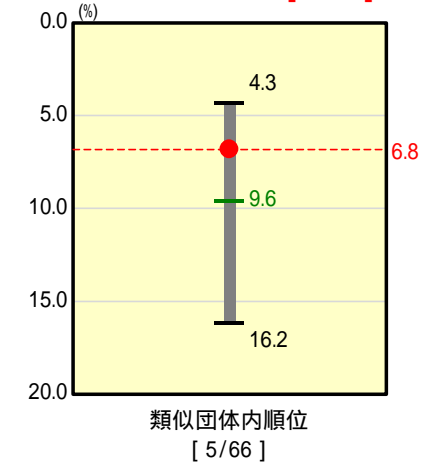
給与水準の適正度(国との比較)

ラスパイレス指数 [97.3]



公債費負担の健全度

起債制限比率 [6.8%]



定員管理の適正度

人口1,000人当たり職員数 [6.22人]

